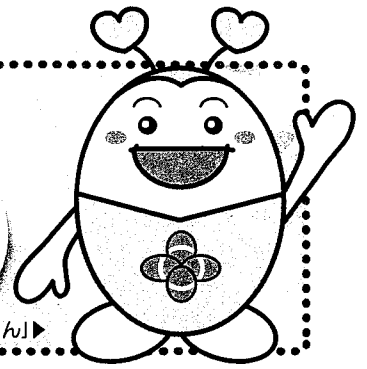


第71号 令和2年3月発行

# ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのピロロちゃん」



## 支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり

### 令和元年度 大分市ボランティアセンター事業

大分市ボランティアセンターでは、第5次地域福祉活動計画に基づき、ボランティア活動の振興のための各種事業に取り組みました。

#### 重点的な取り組み

##### ◆災害時支援活動の整備

大規模災害時の災害ボランティアセンターの設置・運営に備えるため、協力団体とのネットワークづくりに取りくむとともに、市民を対象に災害ボランティア養成講座を開催して、災害時にボランティアとして支援いただける方の登録拡充を図りました。(3月末現在365名)

##### ◆新たな地域福祉の担い手の発掘・養成

地域で支え合う体制づくりを進めるため、校(地)区社協活動等を支援いただける新たな担い手の発掘・養成の具体的な方策について取り組みを始めました。



災害ボランティア養成講座(7月11日)

#### ボランティア活動に関する相談・支援

- 相談対応 「ボランティア活動をしたい」「ボランティアに来てもらいたい」など、窓口や電話で各種の相談に応じました。
- 登録促進 ボランティア登録により、活動保険の加入、情報提供、ボランティアルームの使用、ボランティア連絡協議会の加入などができます。(3月末現在、300グループ9,112名・個人482名、合計9,594名)
- 活動保険 安心してボランティア活動をしてもらうため活動保険の加入を奨励しました。(団体契約者:全国社会福祉協議会、加入者5,083名)
- 活動助成 継続的な活動を促進するため、活動経費の一部を助成しました。(111グループ)

#### 養成・研修事業

##### ●朗読ボランティア養成講座(年10回)

今年度より就任された島田講師の指導の下、9月より10回の講座が開かれ、朗読の技術を基礎から磨いてきました。終了された18名は、ボランティアグループ「しおりの会」を立ち上げ、これから、グループの中で朗読の技術をさらに磨きながら、施設などでボランティア活動を始めていきます。

##### ●施設ボランティア体験

ボランティア活動のきっかけづくりに、福祉施設等で体験してもらいました。1年間で656名が体験、そのうち夏休みには572名もの高校生に参加いただきました。

##### ●点訳ボランティア養成講座(年45回)

昨年の4月から木村講師の指導の下、毎週木曜日45回の講座で点字の基礎をしっかりと学びました。閉講式では、根気のある講座を地道に頑張ってきた受講生へ、厳しくも温かく指導されてきた講師から、惜別の思いが込められた句が贈られました。

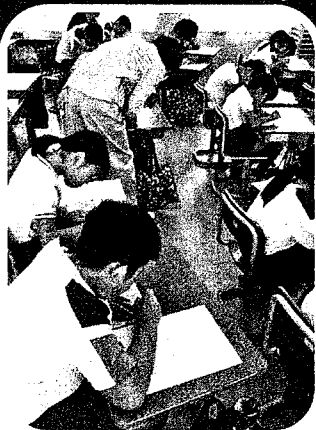
「今度こそ お直しなしと 言われたい 指に伝わる あなたの祈り」「八人が 無心に綴る 六つ星よ むくどりに乗り 今飛び行かん」

修了生8名は、これからボランティアグループ「点訳友の会」の一員として点字図書館「むくどり文庫」を中心に活動されます。

#### その他

- 広報誌「ボランティアだより」の発行(年3回)
- 車いすの貸出(貸出延べ台数532台)

# ふくしの心のしあわせ の実現に向けて(福祉学習講座)



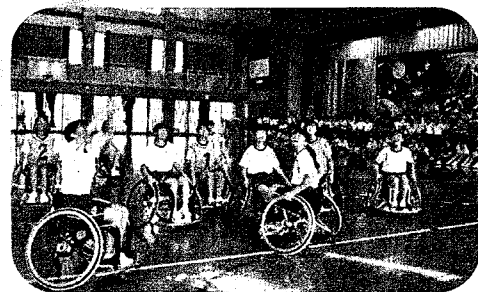
今年度の福祉学習講座は32校の小・中学校で2,888人の児童・生徒を対象に行いました。

アンケートからはほとんどの学校が役に立ったと答えていました。特に希望の多かった講座は点字体験と障がい者スポーツでした。

それぞれの学校の取り組みに応じた講座をこれからも実施していきたいと考えています。その中で5・6年生を対象に配布しています「ふくしの心」のDVDの利用については、令和2年度から教科書の内容も変わりますので、「ふくしの心」の教師用の内容を大幅に改定しました。社会科や家庭科での利用もできますので、各学校で積極的な活用をお願いします。

## <児童の感想から>

今日2、3時間目にふくしの体験をしました。まず、車いす体験をしました。すると先生が「家に車いすがある人」と聞いたので、



ぼくは、「はい。お母さんが車いすです。」と言いました。押しもらおうと段差や後ろが見えないスロープがとても怖かったです。前日にぼくは友だちに「スロープは、後ろから降りるといいよ」と教えてあげたけど後ろ向きでも怖かったです。ペアの人は、感想の時、「楽しかった」と言っていたら、先生が「ペアがよかっただね」とほめられたので、うれしかったです。お母さんの車いすを押すときは、お母さんが怖くないように、今日の体験を生かして、ゆっくり動かしてあげたいです。



## 新型コロナウイルス感染症拡大の防止について ～ボランティア活動にあたって～

日頃よりボランティア活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染は国内で多数の感染者の発生が続いており、大分市においても集団感染が発生して、ますます感染拡大が懸念されています。

集団感染の共通点は、「密閉空間であり換気が悪い」、「手の届く距離に多くの人がいる」、「近距離での会話や発声がある」の3つの条件が揃う場所とされています。

このことから、ボランティアの皆様には、ボランティア活動にあたりまして、健康・安全面を第一に実施の有無を十分ご検討いただきますよう、また、実施する場合には、石鹸による手洗い、アルコール消毒、マスク着用等の予防策を講じていただきますようお願い申し上げます。

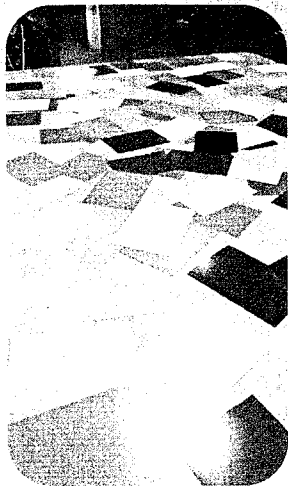
なお、大分市社協では、当面の対応として、本会が実施する行事等で、参加者が著しく多い、不特定多数と接触する可能性が大きい、高齢者が多く参加するものは、中止、または延期の措置を講じているところです。今後も、市民の皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

**令和2年3月末現在の登録者数** 300団体 9,112人 個人 482人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)



## 傾聴ボランティア『いろ葉』

たかが色、されど色…あなたの記憶に残る色は、何色ですか？

～色カルタ(クオリア・ゲームより)～

傾聴を学んだ仲間たちと誰かの何かに役立てれば…と、2016年から活動を始めました。

「あなたのお話をきかせて下さい。」では、なかなか話し難いもの。そこで、私達は『色カルタ』を使います。『色カルタ』は、カルタ遊びですが、とった枚数を競うものではなく、読み手が読んだもの(事)を感じる色を選び、なぜその色を選んだかをお話していただきます。

絵や文字はないので、年齢を問わず、コミュニケーションツールとしても使うことが出来ます。

写真は、高齢者施設でのもの。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

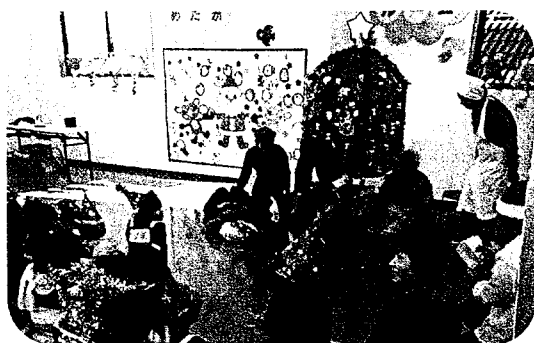
代表 羽田 貴子



## 豊府校区子育て支援「めだか学級」

平成11年に活動開始。

毎年70組を越える登録親子(0歳～5歳)が、専任指導員のもと、ボランティアの見守る中、週4回(月、火、木、金)、1日2時間(9:30～11:30)、専用の「めだかルーム」やスポーツパーク、公立幼稚園などで、歌やリズム遊び・ゲーム・工作・絵本の読み聞かせ・親子でワイワイ友達作り等の活動を行っています。

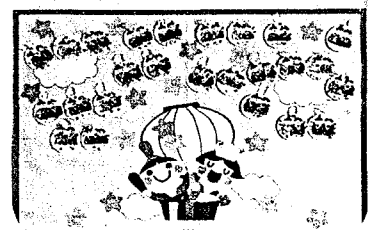


また、地域の公立幼稚園との交流行事や老人

会との交流行事(七夕・お月見・クリスマス会・凧揚げ・節分等)、子育て経験者であるボランティアや母親仲間との交流を通して、乳幼児の健全育成を図り、母親にとっては「子育てが楽しい場」であり、地域高齢者にとっては「参加することが楽しい場」となっています。

代表 松本 広信

めだか



# 皆さんの善意を届けます（集めて役立つボランティア活動）

本年度も皆さんからいただいた使用済み切手・書き損じハガキ・未使用テレホンカードを大分県盲人協会に寄贈しました。これは、協会が平成2年度より取り組んでいる「愛のともしび運動」を支援するもので、皆さまの善意が視覚障がいのある方々の福祉活動に役立っています。これからもご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 令和元年度ご協力いただいた皆様（敬称略）

### ●収集ボランティア

川床豊明クラブ、大在地区婦人会、大分市歯科医師会、（特養）玉光苑、武内造花店  
ボランティア明野、町内ボランティア古国府東、（有）クボタ空調サービス、（株）エンディア  
NPOナルク、宗教法人 真如苑、坂ノ市校区ボランティア、金池小学校ベルマーク部、判田あゆみの会  
佐藤満洋、笠原実、他個人・団体の方々

### ●使用済み切手整理・分類ボランティア

本郷まり子、定行真由美、田島貴代子、うさぎの会、その他のの方々



## 令和2年度「ボランティア活動保険」等のご加入手続きはお早めに！

令和2年4月1日以降の補償についてのご加入申込を受付けています。

### 令和2年度「ボランティア活動保険」改定のお知らせ

令和2年度 全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」は、一部改定しますのでその概要をお知らせします。なお、「ボランティア行事用保険」「福祉サービス総合補償」および「送迎サービス補償」の保険料の改定はありません。

#### 1. 加入プランを見直し、分かりやすく2プランに整理します。

ボランティアの増加とともに事故の発生も増加するなか、保険料を据え置きながら制度を維持するため、これまでの4プランを2プランに整理します。

#### 令和2年度加入プラン

保険金額	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金		1,040万円	1,040万円
後遺障害保険金（限度額）		1,040万円	1,040万円
入院保険金日額		6,500円	6,500円
手術保険金	入院中の手術	65,000円	65,000円
	通院中の手術	32,500円	32,500円
通院保険金日額		4,000円	4,000円
地震・噴火・津波によるケガ		×	○
賠償責任（限度額）		5億円	5億円
保険料		350円	500円

#### <基本プランと天災・地震補償プランの違い>

平時・災害時とも、地震・津波・噴火に起因する死傷に対し、基本プランでは補償対象外、天災・地震補償プランでは補償対象となります。

※「基本プラン」の保険金額、保険料は従来の「基本タイプAプラン」と同一で、「天災・地震補償プラン」の保険金額、保険料は従来の「天災タイプAプラン」と同一です。

#### 2. 災害ボランティアセンターで加入の際は「天災・地震補償プラン」をおすすめします。

被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。活動中の二次被害への備えとしても、あらかじめ天災・地震補償プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

令和2年度の詳細につきましては、令和2年度版各種パンフレット（令和2年1月中旬ご案内予定）、または「ふくしの保険ホームページ」（<http://www.fukushihoken.co.jp>）にてご確認ください。

<取扱代理店>株式会社福祉保険サービス

〒100-0013東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4667 FAX 03-3581-4763（受付時間：平日9:30～17:30）

<引受保険会社>損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-5137 FAX 03-6388-0154（受付時間：平日9:00～17:00）

ボランティア活動保険等についてのお問合せは、株式会社 福祉保険サービスまでどうぞ。

TEL/03-3581-4667 FAX/03-3581-4763 URL <http://www.fukushihoken.co.jp>

## ボランティアだより 発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 **大分市ボランティアセンター**

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COM Holt ホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: [volun@oita-syakyo.jp](mailto:volun@oita-syakyo.jp)

開所日時：月～土曜日 9時～18時【ただし、第2・4月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）及び祝日、12月28日～1月3日は除く】